資料１

令和7年度アスベスト大気濃度調査結果について

１．調査目的

「アスベスト問題に係る総合対策」（平成 17 年 12 月 27 日付けアスベスト問題に関する関係閣僚による会合決定）では「実態把握と国民への積極的な情報提供」の一環として「大気中のアスベスト濃度測定については、実測調査を引き続き実施する。」こととされている。

このため、環境省では、国民に対し情報提供するとともに、今後のアスベスト対策の検討を行うに当たっての基礎資料とすることを目的として全国のアスベスト大気濃度調査を実施している。

２．調査概要及び調査方法

（１）調査概要

令和７年度に調査を行った地点数等についての概要を表１に示す。

継続調査地域は 33 地点・64 箇所、解体現場等は８地点・41 箇所であった。

表１　令和７年度に調査を行った地点数等についての概要

調査区分	調査時期	調査地点	調査箇所	発生源周辺地域調査地点内訳				バックグラウンド地域調査地点内訳					解体現場等
				旧石綿製品製造事業場等	廃棄物処分場等	蛇紋岩地域	高速道路及び幹線道路沿線	住宅地域	商工業地域	農業地域	内陸山間地域	離島地域	
継続調査地域	令和7年7月～12月	33	64	―※	3	3	6	7	5	1	4	4	―
令和7年度調査地域	年1回	8	41	―	―	―	―	―	―	―	―	―	8

※）継続地点は、１地点あたり１～２箇所、解体現場は１地点あたり１～８箇所で調査を行った。

※）「旧石綿製品製造事業場等」は、令和５年１月より工場が休止しているため、調査は行っていない。

（２）調査方法

試料の採取及び分析は「アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）（令和４年３月環境省水・大気環境局大気環境課）」に基づいて行った。

採取した試料については、位相差顕微鏡（以下「PCM」という。）を用いて計数対象となる繊維状粒子を計数し、総繊維数濃度を求めた。なお、総繊維数濃度が１本/Lを超過した場合は、分析走査電子顕微鏡（以下「A-SEM」という。）を用いて石綿繊維の同定を行った。

捕集作業者は、捕集作業管理責任者から十分な教育を受けたものが業務を実施した。また、顕微鏡計数者は、（公社）日本作業環境測定協会が実施するクロスチェックに参加し、Ａ、Ｂ又はＣランクの資格を持ち、十分な技術を有していると認められる者が計数業務を実施した。

３．調査結果概要

（１）アスベスト大気濃度調査による地域分類別の総繊維数濃度結果

「継続調査地域」及び「解体現場等」の地域分類別計測結果集約表を表２に示す。

参考までに、解体現場等の集じん排気装置出口等における調査結果についても併せて示す。

総繊維数濃度は105データのうち、103データが１本/L以下であった。

表２　地域分類別計数結果集約表

地域分類		地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
					最小値（本/L）（3 日間の幾何平均）	最大値（本/L）（3 日間の幾何平均）	幾何平均値（本/L）
発生源周辺地域	旧石綿製品製造事業場等	－	－	－	－	－	－
	廃棄物処分場等	3	6	6	0.056	0.14	0.10
	蛇紋岩地域	3	6	6	<0.056	0.31	0.095
	高速道路及び幹線道路沿線	6	12	12	0.056	0.13	0.083
バックグラウンド地域	住宅地域	7	13	13	<0.056	0.15	0.065
	商工業地域	5	10	10	0.056	0.21	0.10
	農業地域	1	2	2	0.070	0.088	0.078
	内陸山間地域	4	7	7	0.056	0.095	0.068
	離島地域	4	8	8	0.056	0.24	0.11
解体現場等（施工区画周辺）※		7	25	25	0.056	3.7	0.16
合計		40	89	89	－	－	－

（参考）解体現場の集じん排気装置出口等における調査結果	地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
				最小値（本/L）	最大値（本/L）	幾何平均値（本/L）
解体現場等（セキュリティゾーン出入口　内側）	5	5	5	0.11	8.8	0.66
解体現場等（セキュリティゾーン出入口　外側）	1	1	1	0.22	0.22	0.22
解体現場等（集じん排気装置出口）	6	8	8	0.11	0.56	0.16
解体現場等（発生源近傍）	2	2	2	0.11	0.45	0.22
合計	14	16	16	－	－	－

※：解体現場等８地点のうち、No.40 及び 41 は隣接しており、施工区画周辺として共通する１箇所を選定して測定した。

注 1）　検出下限値は 0.056 本/L である（但し、解体現場等の検出下限値は、0.056 又は 0.11 本/L）

注 2）　解体現場等　：建築物又は工作物の解体、改造又は補修作業現場

施工区画周辺　：解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界

注3）　解体現場等以外の地点については３日間の幾何平均値で評価

ア　発生源周辺地域

今年度調査を実施した「発生源周辺地域」では、総繊維数濃度１本/Lの超過は無かった。

なお、「旧石綿製品製造事業場等」は、令和５年１月から当該工場の操業が休止しているため、調査の実施を見送った。（表５（１）№２地点）

イ　バックグラウンド地域

今年度調査を実施した「バックグラウンド地域」では、総繊維数濃度１本/Lの超過は無かった。

ウ 解体現場等

解体現場等については№35から№42地点の計８地点で調査を行った。吹付け石綿を使用していた現場が３地点、石綿含有断熱材を使用していた現場が１地点あり、それぞれの現場で負圧隔離養生を実施したうえで除去作業を行っていた。また、成形板の除去作業を行っている現場が４地点あり、各地点ともに隔離養生や負圧隔離養生を行ったうえで除去作業を行っていた。

○№35 の解体現場等

・作業状況

№35 は、煙突用断熱材（アモサイト）をウォータージェット工法で除去作業を行っていた。

セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は１台設置されていた。なお、集じん排気装置の排気口は砂塵を巻上げないよう作業台を利用し高い位置に設置されていた。フィルターについては、作業ごとに交換を行っていた。

除去方法としては、まず飛散防止剤を煙突内部に塗布し湿潤化をした後、断熱層に薬剤を塗布しゲル化させ、その後超高圧ウォータージェットを用いてゲル化処理された断熱材を細かく剥がし落としていた。剥がされた断熱材は、煙突下部に設けられたバットで受け止められ常時回収されていた。90 分程度で予定していた除去作業は終了し、その後は場内の清掃及び除去した断熱材の搬出を行っていた。超高圧ウォータージェットによる剥離作業であり、水量は極少量であったため、排水はほとんどなかった。

測定対象として、セキュリティーゾーン出入口（外側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

セキュリティーゾーン出入口（外側）の選定理由として、負圧隔離養生部分に穴を開けての更衣室内での測定ができなかったこと及びセキュリティーゾーンの前が狭く三脚等を使用した測定用ろ紙ホルダーの設置ができなかったことから、セキュリティーゾーンの外側部分にろ紙ホルダーを設置し測定を行った。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（外側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺の全測定箇所で総繊維数濃度は１本/L を超過することは無かった。

○№36 の解体現場等

・作業状況

№36 は、対象建屋天井・梁の吹付材（アモサイト）を、飛散抑制剤散布により湿潤化後、手ケレンにより除去作業を行っていた。セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は３台設置され排気口は地上部に設置されていた。

当該現場においては、ファイバーモニター等の自動測定器を使用し、「セキュリティーゾーン出入口」及び「集じん排気装置出口」の連続測定も行った。「集じん排気装置出口」については、測定時に除去を行っている場所から一番近い排気装置の出口を選定した。

「セキュリティーゾーン出入口」の第１室内において、ファイバーモニターの数値が上がる状況も確認されたが、隔離養生の負圧は担保されており、セキュリティーゾーン出入口のカーテンも隔離養生内側に引き込まれていたことから、周辺での工事等の影響の可能性も考えられ

る。
　測定対象としては、セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。
・調査結果
　セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺の全測定箇所で総繊維数濃度は１本/L を超過することは無かった。

○№37 の解体現場等
・作業状況
　№37はフロアー（ビルの８階）全体を２分割にし、天井裏にある吹付け石綿を除去するために、室内天井のロックウール吸音天井板（下地せっこうボード）を手ばらしによる除去を行っていた。石綿含有成形板等（いわゆるレベル３建材）の除去作業であるが、天井裏に吹付け石綿（みなし建材：クリソタイル）があることから、負圧隔離養生内において作業を行っていた。なお、天井裏の吹付け石綿の劣化等は確認できなかった。セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は1台設置され排気口は同階の非常階段に設置されていた。
　測定対象としては、セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界を選定した。「セキュリティーゾーン出入口」の測定では、セキュリティーゾーンのカーテンに PCM 用チューブを設置し「セキュリティーゾーン出入口」の測定を行った。

・調査結果
　セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界の全測定箇所で総繊維数濃度は１本/L を超過することは無かった。

○№38 の解体現場等
・作業状況
　№38 は、№37 と同一現場であり、室内天井の岩綿吸音板を手ばらしにより除去した後の、天井裏にある吹付け石綿（みなし建材：クリソタイル）の除去を行っており、薬剤散布による湿潤化後、手ケレンによる除去作業を行っていた。セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は１台設置され排気口は同階の非常階段に設置されていた。
　測定対象としては、セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界を選定した。当該現場においては、ファイバーモニター等の自動測定器を使用し、「セキュリティーゾーン出入口」及び「集じん排気装置出口」の連続測定も行った。
　「セキュリティーゾーン出入口」の第１室内において、作業員の出入の際にファイバーモニターの数値が上がる状況も確認された。しかしながら、隔離養生の負圧は担保されており、セキュリティーゾーン出入口のカーテンも隔離養生内側に引き込まれていた。

・調査結果
　セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界の全測定箇所で総繊維数濃度は１本/L を超過することは無かった。

○№39 の解体現場等

・作業状況

№39は、№37、№38と同一現場の別区画であり、天井裏にある吹付け石綿除去後に、新たに隔離養生を設置し、残りの室内天井のロックウール吸音天井板（下地せっこうボード）を手ばらしにより除去を行っていた。石綿含有成形板等いわゆるレベル３建材（岩綿吸音板）の除去作業であった。ただし、天井裏に吹付け石綿（みなし建材：クリソタイル）があることから、負圧隔離養生内において作業を行っていた。なお、天井裏の吹付け石綿の劣化等は確認できなかった。セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は1台設置され排気口は同階の非常階段に設置されていた。

測定対象としては、セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界を選定した。「セキュリティーゾーン出入口」の測定では、セキュリティーゾーンのカーテンにPCM用チューブを設置し「セキュリティーゾーン出入口」の測定を行った。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び敷地境界の全測定箇所で総繊維数濃度は１本/L を超過することは無かった。

○№40 の解体現場等

・作業状況

№40 は、ソフト巾木(接着剤)（クリソタイル）を手ケレン等による除去を行っていた。なお、カッター等で壁紙と一緒にソフト巾木及び接着剤が除去できる場合は、カッターにより除去を行っていた。同じフロアーでは、同日にせっこうボード(塗装仕上)（クリソタイル）の除去を隔離養生内で行っていた。その他に、アスベスト不含有と確認されたタイルカーペット接着剤、せっこうボード(クロス仕上)、ロックウール吸音天井板(下地せっこうボード)の撤去も行われていた。

測定対象としては、作業場近傍及び施工区画周辺を選定した。施工区画周辺については、作業員の動線、機材や廃材の運搬経路である事務所への出入口付近１箇所で測定を行った。

・調査結果

施工区画周辺の地点で、総繊維数濃度１本／L を超過していたため、施工区画周辺についてA-SEMによる分析を行ったが、石綿繊維は確認されなかった。

総繊維数濃度が高くなった原因としては、測定地点付近で木製の板を電動工具で切断しており、その影響を受けたと推察される。

○№41 の解体現場等

・作業状況

№41 は、壁に使用されているせっこうボード(塗装仕上)（クリソタイル）を、隔離養生内で手ばらしによる除去を行っていた。№40 と同一現場で、同日にソフト巾木(接着剤)（クリソタイル）を手ケレン等による除去を行っていた。その他に、アスベスト不含有と確認されたタイルカーペット接着剤、せっこうボード(クロス仕上)、ロックウール吸音天井板(下地せっこう

ボード)の撤去も行われていた。

測定対象としては、作業場近傍及び施工区画周辺を選定した。施工区画周辺については、作業員の動線、機材や廃材の運搬経路である事務所への出入口付近１箇所で測定を行った。なお、№40 の施工区画周辺と同時測定である。

・調査結果

施工区画周辺の地点で、総繊維数濃度１本／L を超過していたため、施工区画周辺について A-SEM による分析を行ったが、石綿繊維は確認されなかった。

総繊維数濃度が高くなった原因としては、測定地点付近で木製の板を電動工具で切断しており、その影響を受けたと推察される。

なお、No.40 及び 41 の工事は同フロアー同日施工の為、施工区画周辺は共通で 1 箇所とした。施工区画周辺の結果は、No.40 と共有している。

○№42 の解体現場等

・作業状況

№42は、№39と同一現場であり、室内天井のロックウール吸音天井板(下地せっこうボード)を手ばらしにより除去したのちの、天井裏にある吹付け石綿（みなし建材：クリソタイル）を薬剤散布による湿潤化後、手ケレンによる除去作業を行っていた。また、セキュリティーゾーン出入口より除去した建材の搬出作業も同時に行っていた。

セキュリティーゾーン出入口はファスナー付きで内側にビニールカーテンが設置され、作業中は開放状態でありカーテンは隔離養生内に引き込まれていた。集じん排気装置は１台設置され排気口は同階の非常階段に設置されていた。

測定対象としては、セキュリティーゾーン出入口（内側)、集じん排気装置出口及び敷地境界を選定した。当該現場においては、ファイバーモニター等の自動測定器を使用し、「セキュリティーゾーン出入口」及び「集じん排気装置出口」の連続測定を行った。

「セキュリティーゾーン出入口」の第１室内において、作業員の出入及び搬出時にファイバーモニターの数値が上がる状況も確認された。しかしながら、隔離養生の負圧は担保されており、セキュリティーゾーン出入口のカーテンも隔離養生内側に引き込まれていた。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側）において、総繊維数濃度が 1 本/Ｌを超過していたため、A-SEM による分析を行った。その結果、セキュリティーゾーン出入口（内側）の石綿繊維数濃度が 2.2 本/L（アモサイト）確認された。

調査結果は所管の地方公共団体へ提供し、地方公共団体から施工業者へ状況確認と指導等が行われた。

(２)継続調査地域における調査結果の推移

今年度の「継続調査地域」における調査を地域分類別に集計・整理した結果を表３に示す。また、「発生源周辺地域」及び「バックグラウンド地域」の継続調査地点における総繊維数濃度の推移（平成17年度から令和７年度まで）を図１及び図２に示す。近年では、全ての地点で総繊維数濃度は１本/L以下であり、低いレベルで推移している。【詳細は別添２を参照】

表３　継続調査地域における令和7年度調査結果

地域分類	地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
				最小値（本/L）	最大値（本/L）	幾何平均値（本/L）
廃棄物処分場等	3	6	6	0.056	0.14	0.10
蛇紋岩地域	3	6	6	<0.056	0.31	0.095
高速道路及び幹線道路沿線	6	12	12	0.056	0.13	0.083
住宅地域	7	13	13	<0.056	0.15	0.065
商工業地域	5	10	10	0.056	0.21	0.10
農業地域	1	2	2	0.070	0.088	0.078
内陸山間地域	4	7	7	0.056	0.095	0.068
離島地域	4	8	8	0.056	0.24	0.11
合計	33	64	64	－	－	－

注1）各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で３日間（４時間×３回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を総繊維数濃度としている。

注２）過去の調査結果と比較することを目的に、過去（平成 17～令和７年度調査）と同一地点において集計を実施した。調査地域の分類に当たっては、過去の調査結果においては異なる分類を行っていた地域もあるが、令和４年度の調査地域に合わせて分類した。

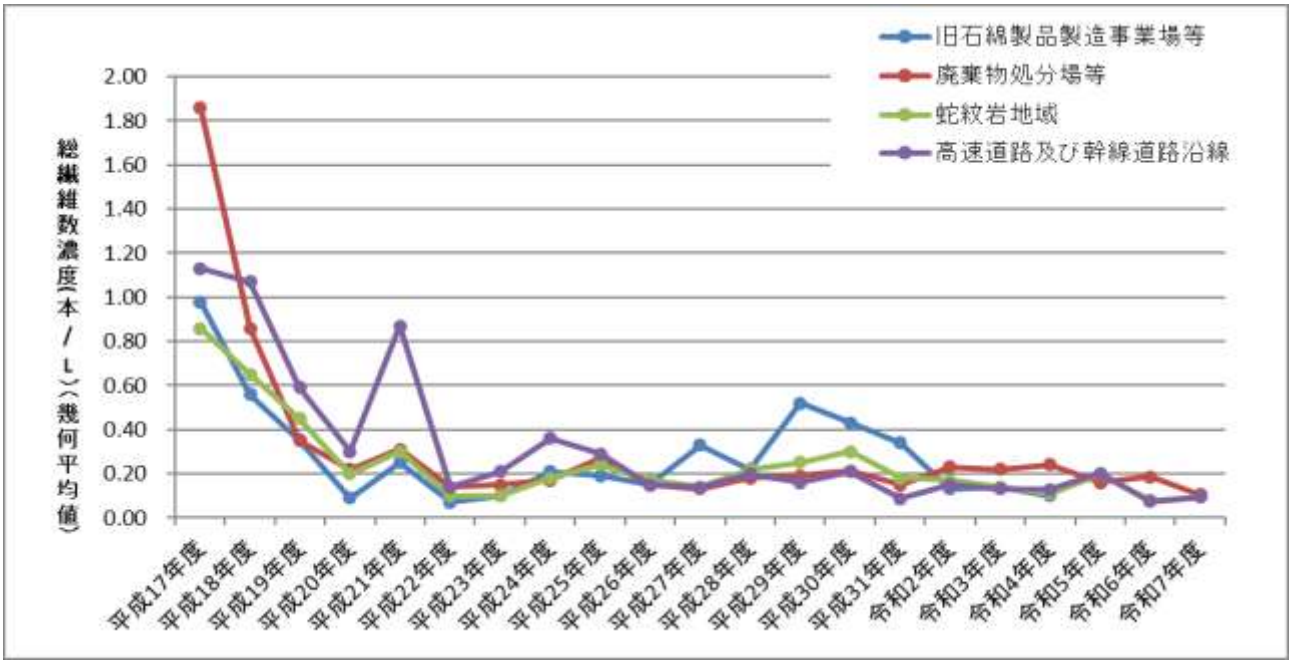

図１　継続調査地域における総繊維数濃度の推移（発生源周辺地域）

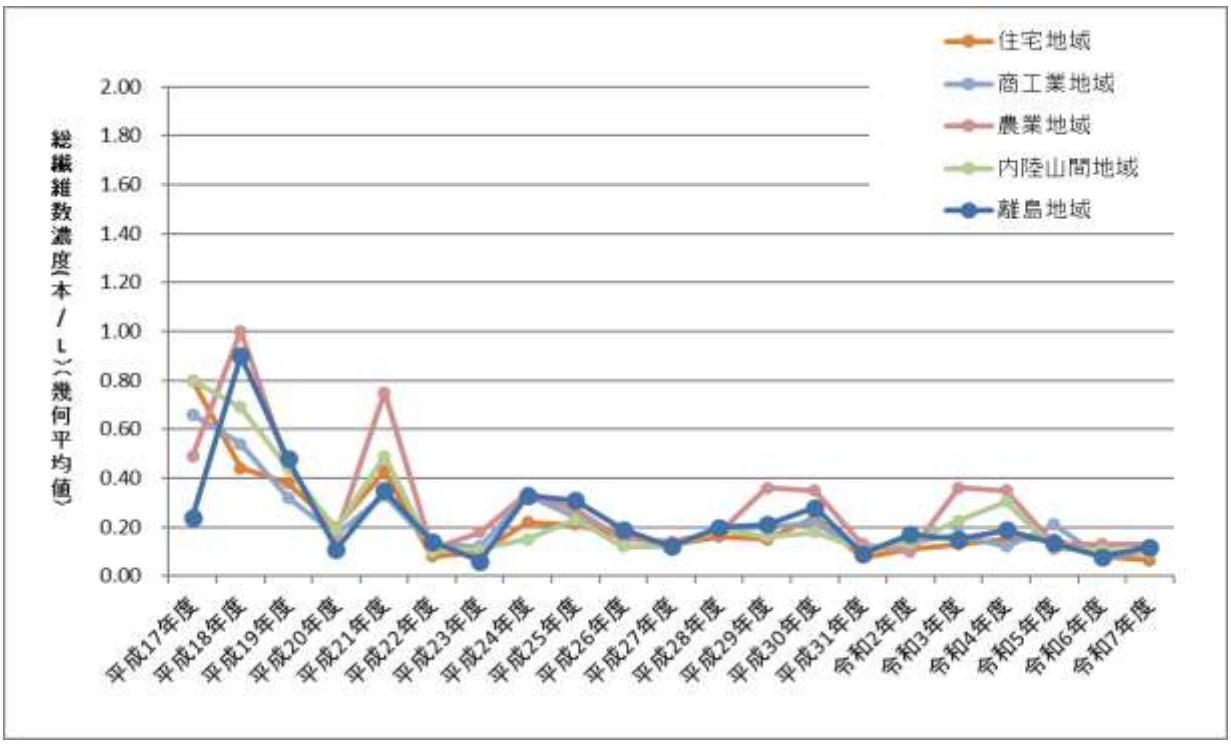

図２　継続調査地点における総繊維数濃度の推移（バックグラウンド地域）

（３）総繊維数濃度１本/L を超えた試料の A-SEM による分析結果

PCM による測定の結果、全 233 試料中、総繊維数濃度が１本/L を超えた２試料について、A-SEM による測定を行った。

測定結果を以下に示す。併せて、A-SEM 測定結果一覧を表４に、PCM 測定結果一覧を表５に示す。

ア　継続調査地点について

継続地点においては、総繊維数濃度が１本/L を超えた地点はなかった。なお、継続調査地点における経年調査結果比較を表６に示す。

イ　解体現場等について

総繊維数濃度が１本／L を超えた２試料について、A-SEM による測定を行った結果、№42 地点の「セキュリティーゾーン出入口(内側)」において、石綿繊維数濃度が、2.2 本／L（アモサイト 25.0%）であった。

また、No.40、No.41共通の施工区画周辺の１試料では、検出下限値未満であった。

表４　総繊維数濃度が１本／Ｌを超過した試料のＡ－SEM 測定結果

地点No.	都道府県名	調査地域	地域分類	測定箇所	光学顕微鏡法	分析走査電子顕微鏡法（長さ５μｍ以上、幅 0.2μｍ以上）					石綿濃度
					総繊維数濃度	繊維数割合（%）					
					（本/L）	ｸﾘｿﾀｲﾙ	ｸﾛｼﾞﾗｲﾄ	ｱﾓｻｲﾄ	その他石綿繊維	その他の繊維	（本/L）
No.40 No.41	東京都	解体現場等	解体現場	施工区画周辺	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100	ND
No.42	東京都	解体現場等	解体現場	ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ出入口	8.8	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	2.2

※：解体現場等８地点のうち、No.40 及び 41 は隣接していたため、施工区画周辺として共通する１箇所を選定して測定した。

表５（１） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法 (本/L) 総繊維	フィルタ枚数	幾何平均(本/L) 総繊維
1	北海道	富良野市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和7年8月12日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和7年8月13日		0.056	1	
					令和7年8月14日		0.056	1	
2	北海道	㈱ノザワフラノ工場（旧北海道工場）	継続調査地域	旧石綿製品製造事業場等	—	①定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	②定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	③定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	④定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑤定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑥定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑦定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑧定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
3	北海道	野沢鉱山	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和7年7月28日	①定点	<0.056	1	0.070
					令和7年7月29日		<0.056	1	
					令和7年7月30日		0.11	1	
					令和7年7月28日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年7月29日		<0.056	1	
					令和7年7月30日		<0.056	1	
4	岩手県	盛岡市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和7年8月25日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月28日		<0.056	1	
					令和7年8月25日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月28日		0.056	1	
5	岩手県	国道4号線盛岡バイパス	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年8月25日	①定点	<0.056	1	0.081
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月28日		0.17	1	
					令和7年8月25日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和7年8月26日		0.056	1	
					令和7年8月28日		0.056	1	
6	岩手県	釜石市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和7年9月1日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年9月2日		<0.056	1	
					令和7年9月3日		<0.056	1	
					令和7年9月1日	②定点	0.39	1	0.15
					令和7年9月2日		0.056	1	
					令和7年9月3日		0.17	1	
7	岩手県	遠野市蛇紋岩採石場	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和7年9月1日	①定点	0.68	1	0.31
					令和7年9月2日		0.17	1	
					令和7年9月3日		0.28	1	
					令和7年9月1日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和7年9月2日		<0.056	1	
					令和7年9月3日		0.056	1	
8	宮城県	国設箟岳局	継続調査地域	内陸山間地域	令和7年8月18日	①定点	<0.056	1	0.088
					令和7年8月19日		0.22	1	
					令和7年8月20日		<0.056	1	
					令和7年8月18日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和7年8月19日		<0.056	1	
					令和7年8月20日		0.056	1	
9	山形県	山形県立米沢女子短期大学	継続調査地域	住宅地域	令和7年9月8日	①定点	0.11	1	0.070
					令和7年9月9日		0.056	1	
					令和7年9月10日		<0.056	1	
					令和7年9月8日	②定点	0.056	1	0.056
					令和7年9月9日		0.056	1	
					令和7年9月10日		0.056	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（２） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）総繊維	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）総繊維
10	山形県	国道13号線	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年9月8日	①定点	<0.056	1	0.088
					令和7年9月9日		0.22	1	
					令和7年9月10日		0.056	1	
					令和7年9月8日	②定点	0.11	1	0.12
					令和7年9月9日		0.34	1	
					令和7年9月10日		0.056	1	
11	福島県	いわき処分場保全センター	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和7年8月26日	①定点	0.11	1	0.070
					令和7年8月27日		<0.056	1	
					令和7年8月28日		<0.056	1	
					令和7年8月26日	②定点	0.056	1	0.056
					令和7年8月27日		<0.056	1	
					令和7年8月28日		<0.056	1	
12	福島県	廃棄物処分場から800m離れたBG地域	継続調査地域	内陸山間地域	令和7年8月26日	①定点	0.056	1	0.070
					令和7年8月27日		0.11	1	
					令和7年8月28日		<0.056	1	
13	東京都	中央防波堤埋立処分場	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和7年9月29日	①定点	0.17	1	0.14
					令和7年9月30日		0.17	1	
					令和7年10月1日		0.11	1	
					令和7年9月29日	②定点	0.28	1	0.13
					令和7年9月30日		<0.056	1	
					令和7年10月1日		0.17	1	
14	東京都	東京都環境科学研究所	継続調査地域	商工業地域	令和7年9月16日	①定点	0.11	1	0.070
					令和7年9月17日		<0.056	1	
					令和7年9月18日		<0.056	1	
					令和7年9月16日	②定点	0.11	1	0.10
					令和7年9月17日		0.17	1	
					令和7年9月18日		<0.056	1	
15	神奈川県	川崎区役所大師支所及び川崎市大師老人いこいの家こども文化センター	継続調査地域	商工業地域	令和7年9月8日	①定点	0.056	1	0.056
					令和7年9月9日		0.056	1	
					令和7年9月10日		<0.056	1	
					令和7年9月8日	②定点	0.056	1	0.15
					令和7年9月9日		0.17	1	
					令和7年9月10日		0.39	1	
16	神奈川県	川崎市幹線道路	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年10月6日	①定点	0.11	1	0.11
					令和7年10月7日		<0.056	1	
					令和7年10月8日		0.22	1	
					令和7年10月6日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和7年10月7日		0.11	1	
					令和7年10月8日		0.056	1	
17	愛知県	名古屋市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和7年9月30日	①定点	<0.056	1	0.10
					令和7年10月1日		0.17	1	
					令和7年10月2日		0.11	1	
					令和7年9月30日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和7年10月1日		<0.056	1	
					令和7年10月2日		0.11	1	
18	愛知県	県道名古屋長久手線	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年9月30日	①定点	<0.056	1	0.070
					令和7年10月1日		0.11	1	
					令和7年10月2日		0.056	1	
					令和7年9月30日	②定点	0.17	1	0.13
					令和7年10月1日		0.28	1	
					令和7年10月2日		<0.056	1	
19	大阪府	堺第7-3区廃棄処分場（旧中間処理センター）	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和7年10月7日	①定点	0.11	1	0.14
					令和7年10月8日		<0.056	1	
					令和7年10月9日		0.51	1	
					令和7年10月7日	②定点	0.17	1	0.11
					令和7年10月8日		0.17	1	
					令和7年10月9日		<0.056	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（３） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）総繊維	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）総繊維
20	大阪府	堺港湾合同庁舎	継続調査地域	商工業地域	令和7年10月7日	①定点	0.17	1	0.21
					令和7年10月8日		0.28	1	
					令和7年10月9日		0.22	1	
					令和7年10月7日	②定点	0.22	1	0.088
					令和7年10月8日		0.056	1	
					令和7年10月9日		0.056	1	
21	大阪府	双子川浄苑	継続調査地域	商工業地域	令和7年10月15日	①定点	<0.056	1	0.081
					令和7年10月16日		<0.056	1	
					令和7年10月17日		0.17	1	
					令和7年10月15日	②定点	0.17	1	0.12
					令和7年10月16日		0.22	1	
					令和7年10月17日		<0.056	1	
22	兵庫県	国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎	継続調査地域	商工業地域	令和7年9月24日	①定点	0.056	1	0.088
					令和7年9月25日		<0.056	1	
					令和7年9月26日		0.22	1	
					令和7年9月24日	②定点	<0.056	1	0.10
					令和7年9月25日		0.056	1	
					令和7年9月26日		0.34	1	
23	奈良県	奈良県農協会館	継続調査地域	住宅地域	令和7年8月19日	①定点	0.056	1	0.056
					令和7年8月20日		<0.056	1	
					令和7年8月21日		<0.056	1	
					令和7年8月19日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年8月20日		<0.056	1	
					令和7年8月21日		<0.056	1	
24	島根県	国設隠岐局	継続調査地域	離島地域	令和7年9月8日	①定点	0.28	1	0.17
					令和7年9月9日		0.17	1	
					令和7年9月11日		0.11	1	
					令和7年9月8日	②定点	0.17	1	0.11
					令和7年9月9日		0.056	1	
					令和7年9月11日		0.17	1	
25	広島県	南原峡県立自然公園	継続調査地域	内陸山間地域	令和7年8月25日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月27日		0.056	1	
					令和7年8月25日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和7年8月26日		0.11	1	
					令和7年8月27日		0.056	1	
26	広島県	山陽自動車道五日市インター	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年9月24日	①定点	<0.056	1	0.087
					令和7年9月25日		0.11	1	
					令和7年9月26日		0.11	1	
					令和7年9月24日	②定点	<0.056	1	0.081
					令和7年9月25日		<0.056	1	
					令和7年9月26日		0.17	1	
27	福岡県	国設筑後小郡環境大気測定所	継続調査地域	農業地域	令和7年8月25日	①定点	<0.056	1	0.088
					令和7年8月26日		0.22	1	
					令和7年8月27日		<0.056	1	
					令和7年8月25日	②定点	0.056	1	0.070
					令和7年8月26日		0.11	1	
					令和7年8月27日		<0.056	1	
28	福岡県	千石の郷	継続調査地域	内陸山間地域	令和7年7月28日	①定点	0.056	1	0.056
					令和7年7月29日		<0.056	1	
					令和7年7月30日		0.056	1	
					令和7年7月28日	②定点	<0.056	1	0.095
					令和7年7月29日		0.28	1	
					令和7年7月30日		<0.056	1	
29	福岡県	福岡市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和7年6月23日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年6月24日		<0.056	1	
					令和7年6月25日		<0.056	1	
					令和7年6月23日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和7年6月24日		<0.056	1	
					令和7年6月25日		<0.056	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（４）PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）総繊維	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）総繊維
30	福岡県	国道3号線千鳥橋交差点	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和7年7月28日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和7年7月29日		<0.056	1	
					令和7年7月30日		0.056	1	
					令和7年7月28日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和7年7月29日		<0.056	1	
					令和7年7月30日		0.11	1	
31	福岡県	糟屋郡旧蛇紋岩採石場	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和7年8月25日	①定点	0.11	1	0.087
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月27日		0.11	1	
					令和7年8月25日	②定点	0.11	1	0.11
					令和7年8月26日		<0.056	1	
					令和7年8月27日		0.28	1	
32	佐賀県	小川島	継続調査地域	離島地域	令和7年9月16日	①定点	0.17	1	0.081
					令和7年9月17日		<0.056	1	
					令和7年9月18日		<0.056	1	
					令和7年9月16日	②定点	0.11	1	0.11
					令和7年9月17日		0.28	1	
					令和7年9月18日		<0.056	1	
33	長崎県	国設対馬酸性雨測定所	継続調査地域	離島地域	令和7年10月27日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和7年10月28日		<0.056	1	
					令和7年10月29日		0.056	1	
					令和7年10月27日	②定点	0.28	1	0.095
					令和7年10月28日		<0.056	1	
					令和7年10月29日		<0.056	1	
34	沖縄県	国設辺戸岬酸性雨測定所	継続調査地域	離島地域	令和8年12月16日	①定点	0.22	1	0.24
					令和8年12月17日		0.17	1	
					令和8年12月18日		0.39	1	
					令和8年12月16日	②定点	0.056	1	0.13
					令和8年12月17日		0.22	1	
					令和8年12月18日		0.22	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（５） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法			分析走査電子顕微鏡法
							(本/L)	フィルタ枚数	幾何平均(本/L)	(本/L)
							総繊維		総繊維	石綿総繊維濃度
35	大阪府	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年5月29日	施工区画周辺①	0.056	1	—	−
						施工区画周辺②	0.056	1		−
						施工区画周辺③	0.11	1		−
						施工区画周辺④	0.39	1		−
						集じん排気装置出口	0.11	1		−
						セキュリティーゾーン出入口	0.22	1		−
36	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年7月1日	施工区画周辺①	<0.056	1	—	−
						施工区画周辺②	<0.056	1		−
						施工区画周辺③	0.11	1		−
						施工区画周辺④	0.34	1		−
						集じん排気装置出口①	0.11	1		−
						集じん排気装置出口②	<0.11	1		−
						集じん排気装置出口③	0.22	1		−
						セキュリティゾーン出入口	0.11	1		−
37	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年7月17日	敷地境界①	0.34	1	—	−
						敷地境界②	0.56	1		−
						敷地境界③	<0.11	1		−
						敷地境界④	<0.11	1		−
						集じん排気装置出口	0.22	1		−
						セキュリティゾーン出入口	0.45	1		−
38	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年7月24日	敷地境界①	<0.11	1	—	−
						敷地境界②	<0.11	1		−
						敷地境界③	<0.11	1		−
						敷地境界④	<0.11	1		−
						集じん排気装置出口	0.11	1		−
						セキュリティゾーン出入口	0.45	1		−
39	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年8月6日	敷地境界①	0.56	1	—	−
						敷地境界②	0.22	1		−
						敷地境界③	0.11	1		−
						敷地境界④	0.11	1		−
						集じん排気装置出口	0.56	1		−
						セキュリティゾーン出入口	0.68	1		−
40	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年8月11日	施工区画周辺	3.7	1	—	ND
						作業場近傍	<0.11	1		−
41	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年8月11日	作業場近傍	0.45	1	—	−
42	東京都	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年8月13日	敷地境界①	0.11	1	—	−
						敷地境界②	<0.11	1		−
						敷地境界③	0.22	1		−
						敷地境界④	0.22	1		−
						集じん排気装置出口	<0.11	1		−
						セキュリティゾーン出入口	8.8	1		2.2

（注）(1)地域分類　　：以下の10種類に分かれている。

1. 【継続】旧石綿製品製造事業場等　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
2. 【継続】廃棄物処分場等　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
3. 【継続】蛇紋岩地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
4. 【継続】高速道路及び幹線道路沿線　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
5. 【継続】内陸山間地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
6. 【継続】離島地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
7. 【継続】住宅地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
8. 【継続】商工業地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
9. 【継続】農業地域　　：平成17～令和６年度と同一の調査地域
10. 解体現場等：建築物等の解体等工事の作業現場

(2)地域名　　：事業場名称、所在地等を記載した。

(3)測定箇所番号：各地域で複数の調査地点を設けている。例えば、調査地点が1地点に4箇所ある場合、①、②、③、④と測定箇所番号をつけている。

(4)測定箇所分類：解体現場等においては「建物周辺」、「セキュリティーゾーン出入口」、「集じん排気装置出口」と表している。なお、「施工区画周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界、「セキュリティーゾーン出入口」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の出入口、「集じん排気装置出口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

(5)繊維数濃度　：各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で３日間（４時間×３回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総繊維数濃度としている。また、解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各測定箇所で１日間（２時間×１回）測定し、その測定値を当該地点における総繊維数濃度としている。なお、NDは繊維未検出のことを示している。総繊維数濃度は、位相差顕微鏡によって繊維状に見える粒子の計数結果から算出したものである。

表６　　継続調査地域における経年調査結果比較

地域分類	地域名	総繊維数濃度　幾何平均値（本/L）																																							
		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
旧石綿製品製造事業場等	㈱ノザワ　フラノ工場（北海道）	0.98		0.56		0.35		0.09		0.25		0.07		0.10		0.21		0.19		0.15		0.33		0.22		0.52		0.43		0.34		0.13		0.14		0.10		－		－		－	
廃棄物処分場等	福島県いわき処分場保全センター(福島県)	1.16	1.86	0.82	0.86	0.43	0.35	0.18	0.23	0.27	0.31	0.11	0.14	0.18	0.16	0.07	0.18	0.31	0.27	0.08	0.16	0.06	0.13	0.19	0.19	0.17	0.19	0.09	0.21	0.16	0.15	0.22	0.23	0.21	0.22	0.27	0.24	0.58	0.16	0.24	0.19	0.062	0.10
	中央防波堤埋立処分場（東京都）	2.00		1.77		0.23		0.32		0.27		0.21		0.20		0.32		0.26		0.20		0.19		0.13		0.19		0.22		0.14		0.25		0.20		0.24		0.11		0.17		0.14	
	堺第７－３区廃棄処分場(旧中間処理センター)(大阪府)	2.80		0.44		0.45		0.21		0.41		0.13		0.11		0.26		0.25		0.24		0.19		0.26		0.21		0.48		0.15		0.23		0.24		0.22		0.070		0.16		0.13	
蛇紋岩地域	糟屋郡旧蛇紋岩採石場（福岡県）	1.10	0.86	0.56	0.66	0.48	0.46	0.22	0.21	0.19	0.30	0.10	0.11	0.10	0.10	0.18	0.18	0.24	0.24	0.21	0.17	0.10	0.15	0.29	0.25	0.21	0.28	0.37	0.30	0.15	0.18	0.18	0.17	0.18	0.14	0.27	0.14	0.27	0.21	0.070	0.080	0.10	0.095
	遠野市蛇紋岩採石場（岩手県）	0.68		0.77		0.44		0.20		0.48		0.11		－		－		－		0.14		0.22		0.22		0.30		0.32		0.17		0.25		0.16		0.11		0.11		0.091		0.13	
	野沢鉱山(北海道)	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		0.17		0.35		0.23		0.24		0.11		0.11		0.056		0.28		0.078		0.062	
高速道路沿線及び幹線道路沿線	国道４号線盛岡バイパス（岩手県）	1.69	1.13	2.08	1.08	0.48	0.59	0.46	0.30	1.18	0.88	0.10	0.14	－	0.21	－	0.36	－	0.29	0.13	0.15	0.10	0.14	0.17	0.21	0.10	0.17	0.20	0.21	0.10	0.088	0.18	0.15	0.15	0.13	0.11	0.13	0.15	0.20	0.075	0.074	0.067	0.083
	国道１３号線（山形県）	1.22		1.42		0.71		0.46		1.08		0.11		－		－		－		0.10		0.13		0.17		0.19		0.17		0.06		0.14		0.13		0.16		0.18		0.056		0.10	
	川崎市幹線道路(神奈川県)	3.79		0.88		0.44		0.23		1.04		0.14		0.13		0.71		0.38		0.16		0.10		0.33		0.18		0.22		0.059		0.10		0.16		0.16		0.18		0.073		0.088	
	県道名古屋長久手線(愛知県)	0.78		2.07		0.93		0.51		0.67		0.14		0.19		0.31		0.28		0.25		0.20		0.15		0.13		0.24		0.083		0.11		0.077		0.10		0.27		0.084		0.098	
	山陽自動車道五日市インター（広島県）	0.54		0.52		0.86		0.12		0.57		0.14		0.28		0.25		0.30		0.15		0.18		0.20		0.25		0.19		0.16		0.20		0.098		0.15		0.16		0.11		0.084	
	国道3号線千鳥橋交差点（福岡県）	0.65		0.56		0.36		0.27		0.91		0.29		0.30		0.31		0.23		0.18		0.18		0.28		0.22		0.26		0.10		0.21		0.27		0.11		0.32		0.056		0.062	
住宅地域	富良野市住宅地域(北海道)	0.77	0.81	0.37	0.45	0.49	0.37	0.14	0.21	0.41	0.43	0.06	0.08	0.10	0.10	0.21	0.18	0.22	0.22	0.18	0.16	0.094	0.14	0.12	0.17	0.22	0.15	0.16	0.26	0.078	0.075	0.12	0.11	0.24	0.13	0.11	0.15	0.16	0.15	0.12	0.079	0.056	0.065
	盛岡市住宅地域（岩手県）	0.73		0.24		0.41		0.29		0.72		0.07		－		－		－		0.13		0.14		0.13		0.09		0.25		0.099		0.19		0.11		0.16		0.062		0.062		0.056	
	釜石市住宅地域（岩手県）	0.46		0.34		0.27		0.18		0.27		0.13		－		－		－		0.14		0.13		0.27		0.13		0.20		0.062		0.13		0.11		0.086		0.19		0.088		0.093	
	山形県立米沢女子短期大学（山形県）	0.76		0.68		0.36		0.48		0.30		0.08		－		－		－		0.14		0.12		0.16		0.13		0.30		0.056		0.085		0.20		0.22		0.16		0.078		0.062	
	名古屋市住宅地域(愛知県)	2.80		1.29		0.43		0.25		0.77		0.07		0.06		0.30		0.23		0.26		0.21		0.12		0.12		0.43		0.14		0.14		0.077		0.10		0.19		0.078		0.084	
	奈良県農協会館（平成24年度までは県保健環境研究センター及び県奈良総合庁舎）（奈良県）	0.62		0.36		0.37		0.11		0.27		0.10		0.09		0.18		0.19		0.17		0.12		0.19		0.15		0.22		0.061		0.086		0.11		0.17		0.26		0.084		0.056	
	福岡市住宅地域(福岡県)	0.65		0.35		0.38		0.14		0.56		0.08		0.17		0.21		0.22		0.16		0.17		0.24		0.28		0.25		0.062		0.073		0.19		0.29		0.11		0.056		0.056	
商工業地域	東京都環境科学研究所（東京都）	1.16	0.66	0.69	0.55	0.21	0.33	0.20	0.18	0.18	0.33	0.19	0.13	0.15	0.12	0.43	0.33	0.33	0.25	0.23	0.18	0.25	0.14	0.18	0.20	0.27	0.25	0.40	0.23	0.083	0.10	0.091	0.14	0.28	0.17	0.094	0.12	0.13	0.21	0.075	0.073	0.084	0.10
	大師中央地域包括支援センター※及び川崎区役所大師支所（平成23年度までは川崎公害研究所）（神奈川県）	1.11		1.05		0.31		0.23		0.53		0.15		0.06		0.34		0.25		0.19		0.11		0.22		0.28		0.18		0.078		0.11		0.23		0.11		0.20		0.062		0.093	
	堺港湾合同庁舎(大阪府)	0.62		0.24		0.25		0.14		0.30		0.09		0.11		0.42		0.22		0.14		0.13		0.19		0.21		0.16		0.12		0.16		0.14		0.16		0.16		0.075		0.13	
	国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎（平成24年度までは国設一般大気環境測定局前及び尼崎市立労働センター中庭）（兵庫県）	0.59		0.62		0.27		0.17		0.34		0.16		0.21		0.31		0.25		0.14		0.10		0.18		0.24		0.25		0.13		0.21		0.11		0.14		0.40		0.070		0.095	
	双子川浄苑(大阪府)	0.27		0.46		0.81		0.17		0.43		0.11		0.10		0.21		0.21		0.21		0.14		0.23		0.29		0.21		0.11		0.15		0.17		0.14		0.26		0.084		0.10	
農業地域	国設筑後小郡環境大気測定所（福岡県）	0.49		1.00		0.45		0.17		0.75		0.11		0.18		0.34		0.27		0.15		0.14		0.18		0.23		0.35		0.13		0.10		0.36		0.35		0.13		0.13		0.078	
内陸山間地域	廃棄物処分場から800m離れたバックグラウンド地域（福島県）	1.44	0.72	0.74	0.68	0.44	0.45	0.19	0.20	0.41	0.51	0.11	0.10	0.19	0.11	0.07	0.15	0.22	0.24	0.06	0.12	0.06	0.12	0.20	0.19	0.11	0.14	0.06	0.18	0.16	0.11	0.10	0.14	0.14	0.24	0.61	0.28	0.091	0.092	0.13	0.10	0.070	0.068
	国設箕岳局	－		－		－		－		－		－		－		－		－		0.20		0.10		0.22		0.08		0.41		0.069		0.10		0.20		0.27		0.056		0.078		0.070	
	南原峡県立自然公園(広島県)	0.61		0.60		0.48		0.14		0.50		0.08		0.06		0.20		0.19		0.13		0.18		0.20		0.22		0.21		0.11		0.21		0.16		0.21		0.078		0.070		0.062	
	千石の郷(福岡県)	0.59		0.74		0.43		0.29		0.58		0.12		0.13		0.25		0.32		0.16		0.24		0.15		0.22		0.22		0.13		0.15		0.58		0.25		0.36		0.18		0.073	
離島地域	小川島(佐賀県)	0.24	0.24	0.90	0.90	0.48	0.48	0.11	0.11	0.35	0.35	0.14	0.14	0.06	0.06	0.33	0.33	0.31	0.31	0.34	0.19	0.12	0.12	0.25	0.20	0.25	0.21	0.30	0.28	0.11	0.091	0.21	0.17	0.13	0.15	0.095	0.19	0.10	0.14	0.10	0.079	0.098	0.11
	国設対馬酸性雨測定所	－		－		－		－		－		－		－		－		－		0.13		0.10		0.18		0.13		0.34		0.056		0.15		0.14		0.17		0.13		0.081		0.073	
	国設隠岐局	－		－		－		－		－		－		－		－		－		0.15		0.08		0.22		0.36		0.16		0.085		0.15		0.23		0.38		0.16		0.067		0.14	
	国設辺戸岬酸性雨測定所	－		－		－		－		－		－		－		－		－		0.19		0.20		0.17		0.16		0.39		0.13		0.18		0.14		0.20		0.16		0.070		0.18	
解体現場	施工区画周辺	1.01	1.28	0.83	1.14	0.45	0.51	0.18	0.20	0.46	0.49	0.12	0.19	0.21	0.31	0.44	0.56	0.42	0.75	0.30	0.47	0.17	0.31	0.24	0.38	0.19	0.22	0.45	0.51	0.41	0.71	0.37	0.57	0.31	0.35	0.23	0.39	0.74	0.81	0.11	0.22	0.16	0.19
	セキュリティゾーン出入口及び集じん排気装置出口	2.10		2.13		0.65		0.25		0.56		0.48		0.66		0.80		1.6		1.3		1.0		0.97		0.29		0.82		1.8		3.1		0.40		1.4		0.96		0.44		0.26	